福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（まちづくり推進課）							事業コード	020110710147		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課				所属長	片岡 まり子				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	82	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和16年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市地縁団体に対する市有財産（市有地域集会所（まちづくり推進課所管分））の無償譲渡に関する要領、福知山市市有地域集会所（まちづくり推進課所管分）譲渡事務費補助金交付要領										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 本市では昭和50年頃に建築された公共施設が多く、将来的には、施設の改修や修繕など、厳しい財政状況において持続可能な公共施設サービスの提供が困難となると予測している。平成27年時点の市内の集会施設は、地元所有が約250施設、市所有が約90施設である。また、市所有90施設のうち43施設がまちづくり推進課所管であった。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 集会施設は、地元コミュニティ維持の観点からも地元のニーズが高い。 一方で、地元所有施設との負担の公平性を図るため、必ずしも市が運営せずとも地元自治会での運営が可能な施設であることから、持続可能なまちづくりのため、公共施設（集会施設）の再配置は必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 「持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置」として、集会施設の地元譲渡を推進する。 公共施設マネジメント計画に基づき、地元合意を得て市有集会施設の譲渡を推進することで、今後の費用支出を抑えることが可能となり、中長期的展望に立った効率性の高い行政経営の確立を目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 地元が施設譲渡について検討、受入やすくするために市設計・施工・登記簿の整理・アスベスト含有建材の調査・登録免許税満額の補助を行う。 ①市有集会施設の譲渡に係る機能補修工事及び工事に伴う設計業務の発注（自治会意見調整） ②市有集会施設の譲渡に係る土地境界確定及び建物表題登記業務 ③市有集会施設の譲渡に係るアスベスト含有調査 ④譲渡に至った市有集会施設に係る登録免許税相当額を負担した自治会に対して補助金として交付

対象者	市有集会施設(まちづくり推進課所管)を利用している自治会の住民	対象者数	7,503	単位あたりコスト	2.9
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（公社）京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、瀬戸内建設工業（株）、（株）猪野工務店、（株）梅田組、（株）A-PRO、自治会（西小谷ヶ丘、鴨野町）				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	9	し尿汲み取り手数料、便槽洗浄消毒手数料			
委託料	2,183	公共嘱託登記業務、アスベスト調査			
工事請負費	15,357	解体工事（中佐々木）、改修工事（小谷ヶ丘、鴨野町）			
負担金補助及び交付金	472	譲渡事務費補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		58,983	19,287	2,899	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		2,288	0	0	0
		前年度繰越	2,288	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			61,271	19,287	2,899	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	4,600	0	
	⑤ その他特財		61,271	14,687	2,899	
決算情報	① 流充用額		△ 234	△ 455		
	② 配当予算		61,037	18,832		
	③ 執行額		55,838	18,021		
	④ 執行率		91.5%	95.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.53 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		4,240	3,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			60,078	21,621		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（まちづくり推進課）基金繰入（地域振興基金）	基金繰入金	12,325	36	
	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（まちづくり推進課）基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	594	38	
	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（まちづくり推進課）（公適・除却）	総務債	4,700	49	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	施設	19	24	30	34		
	（まちづくり推進課所管分の集会所） 全43施設の再配置完了件数（累計）	目標値		43	43	43	43	43	
		達成度	%	44%	56%	70%	79%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	38	39	39	40		
	無償譲渡または用途廃止申請書の受領件数（累計）	当初見込		43	43	43	43	43	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	○自治会に対し、認可地縁団体の設立手続き支援、要望書の作成依頼、譲渡手続きの説明会などを行う。活動の流れは次のとおり。（　）カッコ内は地元作業 ①自治会の合意形成のために説明会等を実施（総会等での決議）　②譲渡の場合（改修箇所の地元要望提出）　③設計（自治会による工事内容の確定）　④工事　⑤譲渡契約（登記のため、自治会において認可地縁団体の設立）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	施設	17	21	27	29		
	譲渡契約数（累計）	目標値		41	39	37	37	37	
		達成度	%	41%	54%	73%	78%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	施設	22	24	30	32		
	機能補修工事数（累計）	当初見込		41	39	37	37	37	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	譲渡契約には受け皿となる自治会の合意が必要であり、公共施設マネジメント計画や認可地縁団体について本市からの説明が必要である。 自治会の代替わり等で事業が停滞しないよう、適切な頻度で地元協議を行う。地元協議には、電話や訪問のほか、説明会の開催等がある。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	地域の住民同士のつながりが希薄化する中、地域コミュニティを維持していくために拠点となる集会施設を自治会へ譲渡し、管理運営することで各地域に応じた利活用を促し、あわせて、将来に向けて市財政負担の軽減を図ることができた。 譲渡のために必要な自治会から認可地縁団体への移行は、地域のあり方再考の契機として機能した。 集会施設の譲渡により、市有及び地元所有集会施設の負担の公平性の確保に寄与することができた。 施設によっては、土地の整理に課題のある施設がある。
現状の課題に対する改善策	自治会の合意形成を図るため、説明会などを実施し意見調整を進める。 自治会の意見を参考にしながら、土地の整理等の問題の対処を進めていく。 近年の資材費や労務費の上昇に加え、自治会等からの要望に対応するため、現行の市発注による集会施設の機能補修工事に加え、R8からは自治会等発注による集会施設機能補修工事に対する補助金交付のいずれかを選択する制度を導入する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	集会施設等整備事業							事業コード	020110710210		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課				所属長	片岡 まり子				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	82	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	集会施設等整備事業補助金要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	集会所等維持管理関連事務事業（R7年度に本事業へ統合）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 今後、集会所の老朽化等により集会所の改修工事件数の増加が見込まれる。地元自治会等が所有する集会所の改修工事等に対して、地元コミュニティ活動への支援として「集会施設等整備事業補助金」を交付している。交付対象は、放送設備の改修、屋根の張替え、内部のフローリング化、新築、新築のための解体他としている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 築年数の古い集会所も多く、改修工事が必要になっている。 特に大規模改修においては自治会の費用負担が大きい。 高齢化が進む中、バリアフリー化が行われていない施設などもあり、利用に支障が生じている場合がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 活動拠点があることでコミュニティが維持しやすい側面があることを踏まえ、地元自治会等による集会施設の維持管理にかかる経費の財政支援により、地域コミュニティ活動を支援する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 自治会等所有の集会所の改修整備等に対して補助金を交付する。 未譲渡の市有集会施設については、使用貸借契約を締結するとともに所有者として適切な維持管理に努める。

対象者	集会施設改修工事等で補助を受けた自治会の住民	対象者数	8,926	単位あたりコスト	1.7	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（有）キョウギ建設、（有）コンスタイル、つじもと工芸社、（株）西日本エスエスシー、自治会（14）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	508	集会所修繕（桔梗が丘、内田町）			
役務費	148	建物総合損害共済分担金、訴えの提起にかかる手数料・保管金（郵券）等			
委託料	121	掲示板撤去、消防設備点検			
負担金補助及び交付金	10,935	集会施設等整備事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		34,871	11,484	12,419	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			34,871	11,484	12,419	
予算財源内訳	① 一般財源		0	538	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		34,871	10,946	12,419	
決算情報	① 流充用額		233	455		
	② 配当予算		35,104	11,939		
	③ 執行額		32,427	11,712		
	④ 執行率		92.4%	98.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.33 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		2,640	3,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			35,067	15,312		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	集会施設等整備事業基金繰入	基金繰入金	11,370	36	
	電柱類設置貸付収入（まちづくり推進課）	財産貸付収入	27	30	
	集会所損害保険料	雑入	104	45	
	土地建物貸付収入（まちづくり推進課）	財産貸付収入	197	30	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	10	8	15	14		
	施設改修支援件数（補助金交付件数）	目標値		10	8	15	14	12	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	－	23	17	27		
	自治会からの相談件数	当初見込		13	13	13	13	13	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	自治会等所有集会施設の管理者に、施設整備に対する補助金制度を説明し活用を促す。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	10	8	14	14		
	地域コミュニティの集会施設　改修満足件数 （検査時に代表者に確認）	目標値		10	8	14	14	12	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	－	24	19	27		
	自治会からの相談件数＋自治会への問い合わせ件数	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	過去に本補助金に対する相談のあった自治会等集会施設の管理者に、市から声かけする。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	改修工事によって利便性が向上した、自治会等管理者から満足だとの声を得ている。地域コミュニティの拠点施設としての価値も向上したと判断している。 また、現在のところ、要望された自治会分はすべて対応できている。 補助金の予算確保の性質上、単年度で申請・施工が難しく、緊急時の対応には余剰予算の範囲内でしか対応できない。故障が発生する前の「予防を兼ねた整備」が対象であり、「故障したので今すぐ改修して補助金をもらいたい」との要望には応えられない。（大規模災害は別途対応） 有効に活用いただくためには、日頃から予防整備の観点で綿密な自治会内の意見の共有が必要である。
現状の課題に対する改善策	集会施設は自治会等コミュニティの維持に有効であると判断している。また、改修の際に自治会等で意見集約されることもコミュニティの活性化に役立つ。 本補助金制度の設計を自治会長に発信し続け、予防整備型の補助金制度であることを周知するとともに、地域内での話し合いを促す。 公共施設民間譲渡事業による市有集会施設の譲渡が全施設完了するまでは適切な維持管理に努めなければならない。 令和7年度より集会所等維持管理関連事務事業を統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ハピネスふくちやま管理運営事業							事業コード	020105810432		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	1 公共施設の最適化			
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置							施策コード	911	
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室					所属長	横岡 弘和			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	05財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	65	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画、公共施設マネジメント計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市民ホール条例、福知山市男女共同参画センター条例、福知山市保健福祉センター条例福知山市人権尊重推進条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ハピネスふくちやまは避難所の指定も受けており、安心・安全な環境整備をし運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設の適切な維持管理。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 人権を尊重した地域社会の確立に向けた拠点施設であるハピネスふくちやまの管理運営に要する経費
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・利用者にとって利用しやすい施設となるように、施設の維持管理・運営を実施する。 ・施設の維持管理を業者に委託することで土日祝にも利用申請を受け取れるようにするなど利用者の利便性を向上させる。

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	–					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	14,041	光熱水費・消耗品費等			
役務費	240	通信運搬費、建物総合損害共済共済基金分担金、ごみ廃棄手数料			
備品購入費	9	消火器			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	37,314	13,108	21,778	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		37,314	13,108	21,778	
予算財源内訳	① 一般財源	34,875	11,906	10,276	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	1,400	0	0	
	⑤ その他特財	1,039	1,202	11,502	
決算情報	① 流充用額	789	1,183		
	② 配当予算	38,103	14,291		
	③ 執行額	38,033	14,291		
	④ 執行率	99.8%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.35 / 0.30	0.39 / 0.25	/	/
	② 概算人件費	3,640	3,820		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		41,673	18,111		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市民ホール使用料	総務使用料	757	7	
	男女共同参画センター使用料	民生手数料	3	12	
	自動販売機設置貸付収入（ハピネスふくちやま）	財産貸付収入	442	31	
	自動販売機等電気代（ハピネスふくちやま）	雑入	35	42	
	ハピネスふくちやま光熱水費	雑入	9	42	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0	0	0	0		
	事故発生率	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	359	359	359	359		
	開館日数	当初見込		359	359	359	359	359	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民に向けた貸館 市民に利用いただくための管理運営								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	ハピネスふくちやまは、こども家庭部、中央保健福祉センター、障害者生活支援センター「青空」（令和8年3月末で退去）、男女共同参画センター等が入っており、市民ホールを含めて多くの市民に利用いただき、有効に活用されている。また、人権推進室、こども家庭部、健康医療課により、各課の提供する行政サービスを行っている。 市民の利用者が増加する必要がある。 施設が老朽化しており、修繕の必要がある。
現状の課題に対する改善策	・施設の老朽化により修繕が増加傾向にある。管理委託業者と連携を取りながら修繕の優先順位を決めて修繕を行っていく必要がある。 ・本市主催事業における集客を増やすため、秘書広報課とも協議しながら魅力ある広報を実施していく必要がある。 ・令和7年度は国勢調査や戸籍フリガナの事務所として庁内利用されていたため、市民利用が減少したが、令和8年度からは貸館として市民への貸出を再開するため、市民利用の増加が期待される。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	人権関連施設集約整備事業							事業コード	030104202301		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室				所属長	横岡 弘和				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	04社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	114･115	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	公共施設マネジメント計画、福知山市人権施策推進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、福知山市人権尊重推進条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 丘地区にある人権関連施設の統合。 丘地区内の市営･府営住宅団地の建て替えに伴い発生する余剰地の活用。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと･最も直すべきところ 統合施設の運営について、事業の再編、地元自治会等との意見すり合わせ。 統合施設の運営について、既存財源以外の財源についての検討。 統合施設完成後の既存施設について、効果的･効率的な処分及び利活用方法の検討。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 丘地区内の市営･府営住宅団地の建て替えに伴い同敷地内に生み出されるまちづくり用地に、丘児童センター、旭が丘教育集会所、夕陽が丘教育集会所、丘老人施設の4施設の機能を集約した地域の拠点となる施設を整備し、人権尊重のまちづくり推進の強化を図るとともに、公共施設マネジメントの観点においても、運営の効率化、余剰地の利活用等を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段･手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 丘児童センター、旭が丘教育集会所、夕陽が丘教育集会所、丘老人施設の4施設の機能を集約した施設の整備。 ･施設整備工事(建築･電気) ･確認申請手数料 南佳屋野会館の公共嘱託登記による境界確定。

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	2.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先･実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
委託料	3,220	公共嘱託登記土地家屋調査士協会業務			
工事請負費	179,700	(仮称)丘地区施設集約事業建設工事			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	30,499	399,600	659,192	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	△ 216,100	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	△ 216,100	0	0
	小計(①～③)	30,499	183,500	659,192	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	10,740	
	② 国支出金	0	28,502	258,527	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	26,000	151,100	385,300	
	⑤ その他特財	4,499	3,898	4,625	
決算情報	① 流充用額	4,294	0		
	② 配当予算	34,793	183,500		
	③ 執行額	34,793	182,920		
	④ 執行率	100.0%	99.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.35 / 0.00	0.39 / 0.02	/	/
	② 概算人件費	2,800	3,176		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		37,593	186,096		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	人権関連施設集約整備事業(防衛省民生安定施設整備補助金)	民生費国庫補助金	57,450	15	
	人権関連施設集約整備事業基金繰入(公共施設等総合管理管理基金)	基金繰入金	3,269	37	
	人権関連施設集約整備事業(緊急防災･減災)	民生債	122,200	49	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	㎡	―	0	0	0		
	公共施設床面積の削減総量	目標値		―	0	0	0	100	
		達成度	%	―	―	―	―	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	10	42	76		
	事業進捗率	当初見込		―	10	20	76	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	老朽化した丘児童センター、旭が丘教育集会所、夕陽が丘教育集会所、丘老人施設の4施設の機能を集約した施設の整備を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・地元自治会などで構成されているまちづくり実行委員会の意見も取り入れながら行った実施設計に基づき工事に取り掛かることができた。 ・財源確保に向けて、近畿中部防衛局に申請し補助金を確保できた。 ・遅滞なく工事を完了し、新施設の開所をめざす。
現状の課題に対する改善策	・令和９年１月の完成に向けて工事を進めて行くとともに、令和９年４月の施設開所に向けて準備を進めていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	共同利用施設維持管理事業							事業コード	030104730111		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室				所属長	横岡 弘和				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	04社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	115・116	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和14年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画、公共施設マネジメント計画	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、福知山市人権尊重推進条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	公共施設除却事業（集会施設）、公共施設民間譲渡事業（集会施設）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 各地域において集会や交流を通じて仲間意識や健康増進を図る場として集会所、老人施設、児童施設などが整備された。 施設の維持管理。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 各施設は建築されてから40年ほど経過しているものが多くある。不具合箇所の修繕など維持管理経費が増加傾向にある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 共同利用施設の維持管理を行う。 公共施設マネジメント実施計画に基づき集会施設の譲渡を行い、公共施設の最適化を進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・施設修繕や周辺の除草等の維持管理 ・施設譲渡や除却に向けて地元へ公共施設マネジメントに関して説明実施

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（公社）福知山市シルバー人材センター、中田自治会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	998	光熱水費・便所修繕・建具修繕・照明器具修繕			
役務費	514	建物総合損害共済、草・剪定枝処分費			
委託料	422	除草・剪定業務			
使用料及び賃借料	50	千原共同集会所用地土地使用料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,987	1,256	5,610	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	3,987	1,256	5,610	
予算財源内訳	① 一般財源	673	542	572	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	900	0	3,900	
	⑤ その他特財	2,414	714	1,138	
決算情報	① 流充用額	2,692	728		
	② 配当予算	6,679	1,984		
	③ 執行額	6,679	1,984		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.40 / 0.00	0.42 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,200	3,360		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		9,879	5,344		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
土地建物貸付収入（人権推進室）	財産貸付収入	535	29	
旧部落問題生活相談所光熱水費	雑入	78	42	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	0	1	0	0		
	集会施設の譲渡申請数	目標値		2	2	1	1	1	
		達成度	%	0%	50%	0%	0%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	33	31	31	30		
	施設数（維持管理施設）	当初見込		33	31	30	29	29	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公共施設マネジメントに基づき施設の譲渡・除却に取り組んでいる。 令和7年度は譲渡申請は無かったが、既に申請が出ている施設の譲渡に向けた手続き等を地元に説明しながら進めている。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・管理施設は建設から40年以上が経過する中で、老朽化により修繕等に要する経費も増加しているが、地元自治会等の施設利用団体と相談しながら、必要な修繕を行うなど適正な管理を行っている。 ・また、公共施設マネジメント計画に基づき地元の理解を得ながら譲渡等を進めている。 ・課題として、施設を地元へ譲渡した場合の維持管理経費が地元負担となるため、地元へ説明会を開くなど地元の理解を得ていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・地元自治会へ譲渡を行う際には、将来的な費用負担についても、充分に説明を行いながら進めていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公共施設除却事業（集会施設）（人権推進室）							事業コード	030104730139		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室				所属長	横岡 弘和				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	04社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	116	頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	公共施設マネジメント実施計画										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 公共施設マネジメント計画に基づき、市の管理する集会施設等の適正化を進めていく。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 返還を受けた集会施設等については、早急に解体したいところであるが、解体価格が高騰しており1年度に解体できる数が限られている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 公共施設マネジメント実施計画に基づき、返還された集会施設等の解体を進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・集会施設等を地元自治会から返還を受ける。 ・解体前にアスベスト含有調査をする。 ・解体設計を行い、解体する。

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	岸下建設株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	83	廃棄物運搬料支払			
委託料	170	千原共同集会所倉庫（物置）及びゴミステーション仮移設業務			
使用料及び賃借料	150	ユニットハウスリース業務			
工事請負費	11,860	千原共同集会所解体工事			
補償、補填及び賠償金	1,531	物件移転補償金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,600	17,000	21,600	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,600	17,000	21,600	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	200	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	2,300	15,300	19,400	
	⑤ その他特財	300	1,700	2,000	
決算情報	① 流充用額	△ 873	△ 863		
	② 配当予算	1,727	16,137		
	③ 執行額	1,727	13,793		
	④ 執行率	100.0%	85.5%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.30 / 0.00	0.23 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	2,400	1,840		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,127	15,633		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公共施設除却事業(集会施設)(人権推進室)基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	1,260	38	
	公共施設除却事業（集会施設）（人権推進室）（公適・除却）	民生債	10,600	49	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	1	0	0	1		
	集会施設等の返還	目標値		1	0	0	1	2	
		達成度	%	100%	―	―	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	0	0	1		
	集会施設等の解体	当初見込		1	0	0	1	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	集会施設等を利用している自治会から返還してもらい、解体工事を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・集会所除却については、公共施設マネジメント実施計画に基づき適正化をしていく必要があるため、地元自治会等と協議を行っている。 ・集会所除却は、地元自治会からの返還を受けて順次解体していくが、解体費も年々高騰しており、予算の確保が難しく、早期の解体ができていない。
現状の課題に対する改善策	・集会所除却にあたり、解体前からアスベスト調査や解体設計を実施し、早期に解体費用の把握に努める。 ・近隣の集会施設等の解体と併せて解体費が安価となるか等研究していく必要がある。 ・財源についても除却債以外の財源がないか検討が必要である。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	施設マネジメント事業							事業コード	020105810542		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	080500 総務部資産活用課				所属長	森下 邦治				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	05財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	68・69	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和16年度	関連計画名	公共施設マネジメント基本方針、基本計画、実施計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 本市では、これまで様々な市民ニーズに応じて数多くの公共施設を整備してきたが、既に老朽化が進んだものも多く、改修や維持管理に要する費用が今後ますます増加する見通しである。しかしながら、少子高齢化や人口減少が進み、税収も減少する一方、高齢化支援や子育て支援などの扶助費が増加することで、公共施設の維持管理のための財源確保もますます厳しくなることが予想されており、適正な公共施設のあり方を見極め、最適な状態を実現する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 本市の人口1人当たりの公共施設（ハコモノ）延床面積は、5.94㎡で、全国平均3.84㎡の約1.5倍であり、多くの公共施設を保有している。また、平成26年度時点における公共施設（ハコモノ）及びインフラの更新費の推計では、令和24年度までの平均で年54.4億円が必要となる試算結果であったが、投入可能な投資的経費は年33.5億円であり、全ての公共施設を更新することが困難な状況にある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 公共施設の更新問題を踏まえ、現在の暮らしを守りつつ、子どもや孫など未来の世代に大きな負担を背負わせず、安心して暮らし、働き、学び続けることができるまち、ふるさとでいつまでも幸せを実感できる持続可能な都市を目指す。そのため、市の保有する全ての公共施設について、全体として福知山市の身の丈に合った将来にわたってバランスのとれたものとなるよう「公共施設マネジメント」を推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市民ニーズと将来負担を踏まえた最適な公共施設を実現するため、公共施設の複合化や削減等を利便性の確保に努めながら推進する。 ・福知山市公共施設マネジメント個別施設計画に基づく、公共施設の長寿命化や公共施設等包括管理業務により、維持管理の質の向上を図り、公共施設の安心・安全を確保する。 ・施設の利用頻度が低い施設、利用の偏りがあるなど有効に利用されていない施設、有効に活用されていない余剰空間をもつ施設などムダを削減する。 ・公民連携手法であるPPP/PFIや指定管理者制度などを導入することで効率的かつ効果的な公共施設の管理運営につなげるとともに、未利用公有財産の民間事業者による活用を推進する。

対象者	公共施設	対象者数	734	単位あたりコスト	443.9	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	オリックス・ファシリティーズ株式会社、有限責任監査法人トーマツ、株式会社地域計画建築研究所					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	22	普通旅費			
需用費	86	消耗品費			
役務費	31	通信運搬費、保険料			
委託料	290,112	公共施設等包括管理業務、公共施設マネジメント推進支援業務委託			
使用料及び賃借料	10	駐車場・高速道路通行料			
備品購入費	352	福知山市公共施設等包括管理業務用端末（ノートパソコン）購入			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		9,013	291,030	285,415	0
	② 補正予算		80	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		9,093	291,030	285,415	
予算財源内訳	① 一般財源		0	280,179	278,142	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		4,000	5,000	3,450	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		5,093	5,851	3,823	
決算情報	① 流充用額		0	△ 349		
	② 配当予算		9,093	290,681		
	③ 執行額		8,767	290,613		
	④ 執行率		96.4%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		4.65 / 0.00	4.40 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		37,200	35,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			45,967	325,813		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	施設マネジメント事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	5,468	37	
	施設マネジメント事業（きょうと地域連携交付金）	総務費府補助金	4,809	21	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	百万円	10,124	11,488	13,858	767		
	削減効果額※R4、R5、R6は、第1期公共施設マネジメント計画の最終年度の目標値を、R7、R8年度は、第2期公共施設マネジメント前期実施計画で令和8年度までの目標値としている。	目標値		29,200	29,200	29,200	2,410	4,975	
		達成度	%	35%	39%	47%	32%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	㎡	48,643	57,689	69,508	1,837		
	公共施設累積削減面積※R4、R5、R6は、第1期公共施設マネジメント計画の最終年度の目標値を、R7、R8年度は、第2期公共施設マネジメント前期実施計画で令和8年度までの目標値としている。	当初見込		70,734	86,267	101,800	12,037	17,410	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	副市長を筆頭に部長級で構成する福知山市公共施設マネジメント推進本部会議、総務部長を筆頭に課長級で構成する福知山市公共施設マネジメント検討委員会を設置し、マネジメント推進体制を構築する。また、計画策定においては、各課の意向を取り纏め、進捗管理を行うことで市全体の取り組みを推進する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	―	75.5		
	施設管理者へ導入効果に関するアンケートを実施し、4段階評価で上位の「非常に良い」「良い」の評価を80%以上から得る。	目標値		―	―	―	80	80	
		達成度	%	―	―	―	94%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	―	―	―	32		
	包括管理業務の受託者と業務推進及び業務改善に関する協議を年12回以上実施する。	当初見込		―	―	―	12	―	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	資産活用課に届く各施設所管課や施設からの要望や意見を包括管理業務の受託者に共有することで、随時改善を図り、満足度を向上させる。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	公共施設マネジメント基本計画期間10年間において最終年度にあたる令和6年度は、単年度で貸付含む削減実績は累計で69,508㎡となった。第1期公共施設マネジメント基本計画（10年間）の目標101,800㎡に対する達成率は68.3%、30年間の目標208,000㎡に対する達成率は33.4%であり、着実に進捗している。 それ以外にも、外部評価では、第19回日本ファシリティマネジメント大賞において優秀ファシリティマネジメント賞を受賞、行革甲子園2024においてグランプリを受賞するなど一定の成果を出している。 一方、令和7年度の延床面積削減（貸付による施設の転用を含む）は、当初見込12,037㎡に対し1,837㎡と低調であった。この要因の1つとしては、大規模施設である廃校の新たな活用を見込んでいたもので、令和7年度中に活用事業者の選定までは完了できたが、契約手続き等が令和8年度になることから未達成となったものである。
現状の課題に対する改善策	推進体制として福知山市公共施設マネジメント推進本部会議や検討委員会を設置しており、引き続き庁内全体の取り組みとして推進していく。また、民間事業者による廃校活用や集会施設の地元譲渡などについては、地元や関係者に対して丁寧な説明を引き続き行い、これらを着実に進めていくことで計画全体の進捗を図っていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	庁舎管理事業							事業コード	020105810457	
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化			
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911	
事業担当	所属	080700 総務部総務課				所属長	塩見 史明			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	05財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	67 頁
計画期間	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市庁舎の設備等の維持管理について管理する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市庁舎が出来てから、50年経過し庁舎内の設備については更新していくことが必要と考える。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民に対するサービスの拠点施設として、市庁舎の機器等の保守管理を行い適正な管理運営を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 庁舎内の機械設備の保守点検を業者に委託することにより、適正な管理を図る。 空調機器や付随する機械設備の整備点検を行うことにより、庁舎内における適正な空気環境を図る。 庁舎内の清掃や敷地内の樹木剪定等を専門業者に委託することにより、清潔な庁舎環境保持を図る。

対象者	職員、市民	対象者数	77,377	単位あたりコスト	1.6	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	㈱KBS京都営業所、アムス・セキュリティサービス㈱、JFEテクノス㈱、㈱エネゲート、（公社）京都府シルバー人材センター連合会ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	46,311	印刷製本費、光熱水費、修繕料、消耗品費			
役務費	667	手数料（ごみ廃棄）、通信運搬費（郵送料）、保険料			
委託料	19,631	その他の業務委託（市庁舎電話交換業務）、維持管理業務（庁舎設備運転及び設備管理における労働派遣契約）			
使用料及び賃借料	7,727	その他機器等借上料（LED照明賃貸借）、駐車料・高速道路等通行料			
工事請負費	23,225	工事請負費（福知山市庁舎2階屋上防水改修ほか工事）			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	113,385	104,962	104,302	0
	② 補正予算	0	28,000	0	0
	③ 繰越予算	10,890	△ 46,027	0	0
	前年度繰越	10,890	0	0	
	次年度繰越	0	△ 46,027	0	0
小計（①～③）		124,275	86,935	104,302	
予算財源内訳	① 一般財源	100,493	52,322	73,284	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	8,100	23,300	0	
	⑤ その他特財	15,682	11,313	31,018	
決算情報	① 流充用額	△ 1,192	10,627		
	② 配当予算	123,083	97,562		
	③ 執行額	120,597	97,561		
	④ 執行率	98.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.96 / 7.80	0.63 / 7.00	/	/
	② 概算人件費	29,520	24,640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		150,117	122,201		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		庁舎管理事業（緊急防災・減災）		総務債		23,200		49	
		自動販売機設置貸付収入（市本庁舎）		財産貸付収入		2,272		31	
		市庁舎前駐車場貸付収入		財産貸付収入		5,428		29	
		庁舎一時使用料		総務使用料		934		6	
		施設等光熱水費		雑入		372		41	
		市役所庁舎自動販売機電気代ほか		雑入		504		42	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	14	16	16	3		
	維持管理委託契約数	当初見込		14	14	16	16	16	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	庁舎内の機械設備の保守点検を業者に委託することにより、適正な管理を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	市民にとって、身近な住民サービスの拠点施設としての庁舎機能を維持するために、空調機等の機械設備は専門知識を有する業者へ委託する等、安定的に維持管理を図っている。 庁舎内の機械設備類の老朽化により、年々修繕費用が嵩んでいる現状から、更新を踏まえた改修が急務となっている。もし当該機器類が故障した際は取替部品もなく、市民サービスの低下となる状況につながる。
現状の課題に対する改善策	市庁舎内の機械設備類について長寿命計画を立て、また将来を見据え新庁舎の建設計画についても考えていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	老人福祉施設管理事業							事業コード	030103420227		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市夜久野町老人憩いの家条例、福知山市高齢者福祉センター条例、福知山市三和町高齢者生活福祉センター条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	老人福祉施設改修事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 老人福祉施設を安全快適に利用いただくために維持管理を行っていく必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設の老朽化により、修繕工事が必要になる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 老人福祉施設を安全快適に利用いただくために維持管理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・高齢者福祉課所管施設の維持管理に関する事業　・生活支援ハウスの管理運営、施設の維持管理業務 ・地元老人クラブ等高齢者の活動の場 （所管施設） ・福知山市高齢者福祉センター、三和町高齢者生活福祉センター、夜久野町老人憩いの家　ほか

対象者	福知山市内の65歳以上高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	1.6
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	(福)福知山学園、(福)清和会みわ、姫路ナブコ㈱、(公社)福知山市シルバー人材センター、大槻冷熱設備㈲、㈱もりぐちでんき				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	53	指定管理者選定委員会委員報酬			
需用費	1,939	光熱水費、施設修繕			
役務費	60	保険料			
委託料	32,136	高齢者生活福祉センター及び高齢者生活福祉センター指定管理料			
使用料及び賃借料	70	三和町老人デイサービスセンターAED賃貸借			
備品購入費	488	三和町老人デイサービスサービスセンター脱衣場エアコン、福知山市高齢者福祉センターエアコン			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	33,247	32,583	41,307	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		33,247	32,583	41,307	
予算財源内訳	① 一般財源	31,504	30,481	31,421	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	6,300	
	⑤ その他特財	1,743	2,102	3,586	
決算情報	① 流充用額	632	2,164		
	② 配当予算	33,879	34,747		
	③ 執行額	33,879	34,747		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.05 / 0.00	0.33 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	400	2,640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		34,279	37,387		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	電柱占用料(高齢者福祉センター等)	民生使用料	158	8	
	土地建物貸付収入（高齢者福祉課）	財産貸付収入	223	29	
	三和町高齢者生活福祉センター	雑入	183	41	
	生活支援ハウス利用者負担金	雑入	2,699	46	
	生活支援ハウス利用者負担金督促手数料	民生手数料	1	12	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	日	0	0	0	0		
	機能不全による稼動休止日	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	0	0	0	0		
	事故件数	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	老人福祉施設を安全快適に利用いただくために維持管理を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	35	50	55	65		
	生活支援ハウス稼動率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	35%	50%	55%	65%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	2	5	8		
	施設の修繕・整備回数	当初見込		4	4	4	4	4	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の維持管理及び修繕に係る依頼業務								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・センターの生活支援ハウスは、一人暮らし、高齢者世帯等が増加する中で退院後の受け皿としてのニーズが高いが、入居者の長期化と、入居希望者の身体状況により受け入れが困難なケースがあることや、20室と限られた部屋数であるが、入居の長期化が見られることが課題である。 ・近隣に類似機能を持つ公共施設が存在するため、地元との合意形成により譲渡を進める必要がある。
現状の課題に対する改善策	・公共施設マネジメント実施計画の中で民間活力を視野にいれ民間譲渡を計画している。譲渡条件の整理を行い指定管理者と協議を行う。 ・地域合意のもとで、地域に施設を譲渡するとともに、複数の地域が開放型自治会館として利用できるよう（地域における貸館機能を有する施設として運用できるよう）、維持・更新等に補助制度も検討し、地域が地域の施設として管理運営を行っていけるよう支援する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	農村研修集会施設等管理事業							事業コード	060102220103		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	06農林業費	項	01農業費	目	02農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	149・150	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（農林整備課）、公共施設除却事業（集会施設）（農林整備課）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・農村研修会施設等の農村環境整備に係る事業で設置された施設は、設置から年数が経過しているものが多い。 ・地元の農村集落も高齢化等で清掃や草刈り等の維持管理が困難になってきている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・必要なものについては所有者である市の修繕や維持管理が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・持続可能な農村づくり、地域コミュニティを形成する拠点施設とするため、施設の機能維持に必要な修繕や点検を実施し、農村研修集会施設等の適切な管理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・中六人部会館、金谷会館等の消防設備の修繕を実施した。 ・期限が切れる消火器の更新を行った。 ・上六人部会館トイレの洋式化及び故障した空調設備の修繕を実施した。 ・里の駅みたけのトイレの維持管理を行った。

対象者	農村研修集会施設等の対象地域住民（14施設）	対象者数	14,794	単位あたりコスト	1.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	㈱丹新ビルサービス、㈱環協技研、㈱昭和リーブス、㈱かんとーす、三岳高齢者活動促進施設運営委員会、共立工業㈱、㈱アクアテック					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	3,905	上六人部会館空調設備修繕、上六人部会館1階男女トイレ修繕ほか			
役務費	375	建物総合共済基金分担金、上六人部会館調理室空調設備洗浄ほか			
委託料	1,356	里の駅みたけ浄化槽保守管理業務、 里の駅みたけ公衆トイレ清掃管理業務ほか			
工事請負費	9,428	中六人部会館駐車場整備工事、上六人部会館便所改修工事			
備品購入費	6	消火器の購入			
負担金補助及び交付金	172	上六人部会館口径変更に伴う上水道加入金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		7,759	9,061	1,250	0
	② 補正予算		0	7,500	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			7,759	16,561	1,250	
予算財源内訳	① 一般財源		1,093	3,084	522	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	9,200	0	
	⑤ その他特財		6,666	4,277	728	
決算情報	① 流充用額		370	△ 45		
	② 配当予算		8,129	16,516		
	③ 執行額		8,129	15,242		
	④ 執行率		100.0%	92.3%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.70 / 0.00	0.65 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		5,600	5,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			13,729	20,442		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	土地建物貸付収入（農林整備課）	財産貸付収入	452	30	
	電柱類設置貸付収入（農林整備課）	財産貸付収入	176	31	
	農村研修集会施設等管理事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	3,522	39	
	農村研修集会施設等損害保険料	雑入	62	46	
	農村研修集会施設等管理事業（緊急防災・減災）	農林業債	7,400	50	
	電柱占用料（農林整備課）ほか		14		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	施設	6	9	7	7		
	消防設備点検(年度末)で不具合がなく適切に管理されている施設	目標値		10	10	8	7	7	
		達成度	%	60%	90%	88%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	施設	7	3	9	3		
	修繕等実施施設数	当初見込		5	5	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・前年度の消防設備点検の結果に基づき修繕を実施する。 ・直営施設の不具合に対応する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	千円	8	0	113	42		
	活用されていない施設に係る維持管理費（修繕料、除草委託等）	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	施設	5	6	6	4		
	活用されていない施設数	当初見込		5	6	6	6	5	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	活用されていない施設の民間利活用を検討 活用されていない施設の除却								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・施設の点検や修繕を適宜実施し、適切に維持管理することで、地域のコミュニティ活動の拠点施設としての役割を果たしている。 ・地元等での管理が困難となり用途廃止となった結果、市が管理している施設は維持費が発生している。
現状の課題に対する改善策	活用されていない施設については、施設の民間への貸付や他の用途での活用などを検討する必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（農林整備課）							事業コード	060102220104		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	06農林業費	項	01農業費	目	02農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	150	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	農村研修集会施設等管理事業、公共施設除却事業(集会施設)(農林整備課)										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 老朽化した公共施設が多く、改修や維持管理に要する費用が今後増加する見込みであり、人口減少が進み税収も減少する等、公共施設の維持管理のための財政的条件が厳しくなることが予想されている。そういった状況の中で公共施設の最適な状態を実現する取組み（公共施設マネジメント）の方針及び目標を定め、地元合意のもとで、地域に施設の譲渡を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 集会施設の中には複数の自治会で管理運営している施設や、広域避難所になっている施設がある。施設によって状況が多様であり、譲渡後の維持管理等の関係から地元合意に至るまでに時間を要している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 老朽化に伴う公共施設の更新等に関する将来の市民負担を軽減し、かつ現在の市民サービスを維持するために公共施設の最適な再配置（譲渡等）を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 令和8年度譲渡に向けて、戸田会館の建物表題登記及び屋根瓦点検を行った。

対象者	対象施設地区住民（8施設）	対象者数	7,571	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（公社）京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、㈱植田瓦				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	17	構造改善センター戸田会館屋根瓦点検			
委託料	121	構造改善センター戸田会館建物表題登記業務			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		27,011	7,654	9,738	0
	② 補正予算		0	△ 7,578	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			27,011	76	9,738	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		27,011	76	9,738	
決算情報	① 流充用額		1,815	62		
	② 配当予算		28,826	138		
	③ 執行額		26,782	138		
	④ 執行率		92.9%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.80 / 0.00	0.68 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		6,400	5,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			33,182	5,578		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公共施設民間譲渡事業（集会施設）（農林整備課） 基金繰入（地域振興基金）	基金繰入金	137	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	施設	16	20	23	23		
	譲渡等完了施設数	目標値		28	28	28	28	28	
		達成度	%	57%	71%	82%	82%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	施設	24	24	26	26		
	意向調査完了施設数	当初見込		28	28	28	28	28	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	集会施設を維持管理している地元に対して、説明を行い、地元合意を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	地元譲渡等を行った施設は23施設である。 令和７年度に譲渡を予定していた戸田会館については、改修工事内容に係る協議・調整に時間を要したため年度内の譲渡には至らなかったが、令和８年度の譲渡に向けて、変更後の工事内容について概ねの方針を整理できた。 譲渡にあたっては地域との合意のもとで譲渡を行うが、合意に至っていない施設が2施設存在する。
現状の課題に対する改善策	譲渡にあたっての地元合意については、譲渡にかかる支援策などの説明を定期的に重ねることで住民の合意形成を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	公共施設除却事業(集会施設)(農林整備課)							事業コード	060102220105		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	06農林業費	項	01農業費	目	02農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	150	頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画			R8現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農林整備課)										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市公共施設マネジメントにより用途廃止した集会施設のうち、十分活用できる施設については積極的な利活用を検討するが、老朽化し危険性のある建物については解体工事を実施し、土地の利活用等を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 用途廃止した施設のうち、利活用等の方向性が決まっていない施設がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 用途廃止した農村研修集会施設のうち、老朽化し危険性のある施設について建物を解体し、土地の利活用等を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 令和7年度に三岳会館と金谷会館倉庫の2棟を解体した。 ・三岳会館は令和4年に施設の廃止を条件に旧三岳小学校に機能集約をしているため解体を行った。 ・金谷会館倉庫は瓦が落下するなど老朽化が著しいため解体を行った。

対象者	解体対象施設の存在する地域住民(三岳地域)	対象者数	416	単位あたりコスト	131.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)環協技研、セイリョウ建設(株)、(株)いとう					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
委託料	216	アスベスト含有調査業務			
工事請負費	51,781	三岳会館解体工事、金谷会館倉庫解体工事			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	3,800	63,798	0	0
	② 補正予算	0	△ 5,021	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	3,800	58,777	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	3,400	52,600	0	
	⑤ その他特財	400	6,177	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	3,800	58,777		
	③ 執行額	2,477	51,997		
	④ 執行率	65.2%	88.5%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.60 / 0.00	0.32 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,800	2,560		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,277	54,557		

主な利用特財(R7年度実績値)

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
公共施設除却事業(集会施設)(農林整備課)(公適・除却)	農林業債	5,100	50	
公共施設除却事業(集会施設)(農林整備課)(公適・集約化)	農林業債	41,400	50	
公共施設除却事業(集会施設)(農林整備課)基金繰入(公共施設等総合管理基金)	基金繰入金	5,497	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	施設	5	6	6	6		
	未利用施設数	目標値		5	6	6	6	3	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	0	0	0	2		
	解体工事数	当初見込		0	0	0	2	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	除却対象施設の住民に対し、解体工事の説明や解体後の利活用等について説明を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度に三岳会館と金谷会館倉庫の2棟を解体した。 用途廃止した施設のうち、今後の方向性が決まっていない施設の利活用または除却を進めなければならない。
現状の課題に対する改善策	用途廃止した施設で利活用が図れない場合は、建物が危険な状態になるまでに除却を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	小学校施設改修事業							事業コード	100201620528		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	600100 教育委員会教育総務課				所属長	濱田 亜希子				
会計情報	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	199	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	建築基準法、消防法										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	中学校施設改修事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 小学校施設の多くが、築30年以上を経過し老朽化が進行している。 また、「個別最適な学び」や「協働的な学び」など多様な学習活動に対応する教室空間の設備環境の整備、改修が必要となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 学校施設の経年劣化により、児童の安心・安全、衛生環境の確保に向けた対応が求められる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 計画的な改修を実施することで、教育環境の整備を図る。 児童が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、老朽化により不具合が生じている施設の改修を行い、学習空間の機能性、快適性を高める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・営繕修繕 ・昇降口改修工事に伴う設計業務（昭和小学校） ・体育倉庫設置工事（大正小学校） ・グラウンドフェンス改修工事（庵我小学校） ・体育館バスケットゴール改修工事（遷喬小学校）

対象者	市立小学校　児童・教職員	対象者数	4,193	単位あたりコスト	7.0	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	一級建築士事務所野崎設計、株式会社塩見商会、オニテック					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	10,032	小学校14校における施設修繕			
役務費	40	大正小学校体育倉庫設置工事に伴う建築確認、完了検査申請			
委託料	4,194	昭和小学校昇降口改修工事に伴う設計業務ほか			
工事請負費	9,045	大正小学校体育倉庫設置工事ほか			
備品購入費	1,316	消火器購入			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	39,372	22,900	81,000	0
	② 補正予算	△ 7,142	0	0	0
	③ 繰越予算	58,806	0	0	0
	前年度繰越	58,806	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		91,036	22,900	81,000	
予算財源内訳	① 一般財源	15,982	1,800	6,300	
	② 国支出金	19,796	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	49,200	16,600	72,700	
	⑤ その他特財	6,058	4,500	2,000	
決算情報	① 流充用額	△ 3,934	1,760		
	② 配当予算	87,102	24,660		
	③ 執行額	85,817	24,627		
	④ 執行率	98.5%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.79 / 0.00	0.57 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	6,320	4,560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		92,137	29,187		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
小学校施設改修事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	5,240	38	
小学校施設改修事業（学校教育施設等整備）	教育債	7,700	53	
小学校施設改修事業(緊急防災・減災)	教育債	2,500	53	
小学校施設改修事業(行政改革推進)	教育債	2,700	53	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	校	14	14	14	14		
	改修・修繕を実施した学校数	目標値		14	14	14	14	14	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100	100		
	施設改修に係る工事完了率	当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・建築基準法や消防法に基づいた設備の修繕 ・学校施設の改修、修繕								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	小学校の施設整備は、児童の安全・安心な学校生活と教職員の教育活動を支える基盤であり、計画的な改修・修繕は不可欠である。今年度からは公共施設の保守管理や日常的な修繕対応を民間事業者に一括して委託する包括的な管理手法を導入し、日常的な修繕等への迅速な対応が図られた。 学校施設の老朽化が進むなか、こうした日常的な対応の範囲を超える修繕や改修については、財政的な制約もあり全てに応えることは困難な状況にある。緊急性や危険度、教育活動への影響などを精査し、優先順位を見極めて計画的に対応していくことが引き続きの課題である。
現状の課題に対する改善策	包括管理業務委託（民間委託）により行う日常的な修繕の範囲を超える改修については、緊急性・危険度・教育活動への影響度や費用対効果の観点から優先順位を見極め、計画的かつ重点的な対応を検討していく。特に、児童の安全や学習環境に直結する事案については優先的な対応に向けて調整するとともに、学校現場との情報共有を図り、限られた予算のなかで的確な精査・整理に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	小学校施設長寿命化事業							事業コード	100201621555		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	600100 教育委員会教育総務課				所属長	濱田 亜希子				
会計情報	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	199・200	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市学校施設長寿命化計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	中学校施設長寿命化事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市内の小学校施設の多くが建築後30年以上を経過しており、老朽化の対応が課題となっている。 全国的にも教育施設の更新の必要性が高まる中、本市においても持続可能な学校施設の維持管理に向け計画的な整備を行う必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設の老朽化により、雨漏りや外壁の剥落などが発生し、児童の安全性や快適な学習環境の確保に支障をきたしている。一方で限られた財源の中での対応から全ての施設に即時対応することは現実的ではなく劣化度を踏まえて優先順位を見極め段階的かつ計画的な整備が必要となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 児童にとって安全・安心な教育環境を継続的に確保するとともに突発的な修繕の発生を抑制し、施設管理の効率化と財政負担の平準化を図っていく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・管理棟外壁改修工事（修斉小学校） ・高圧受変電設備改修工事（昭和小学校、大正小学校、六人部小学校）

対象者	市立小学校　児童・教職員	対象者数	4,193	単位あたりコスト	10.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社環協技研					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	44	高圧受変電設備改修工事に伴う六人部小学校の停復電操作			
委託料	72	修斉小学校石綿含有調査業務			
工事請負費	40,830	高圧受変電設備改修工事、外壁改修工事			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		58,000	44,950	53,000	0
	② 補正予算		△ 6,377	0	0	0
	③ 繰越予算		0	△ 4,550	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	△ 4,550	0	0
小計（①～③）			51,623	40,400	53,000	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		46,300	36,400	47,700	
	⑤ その他特財		5,323	4,000	5,300	
決算情報	① 流充用額		0	545		
	② 配当予算		51,623	40,945		
	③ 執行額		51,622	40,945		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.44 / 0.00	0.20 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		3,520	1,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			55,142	42,545		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	小学校施設長寿命化事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	4,230	37	
	小学校施設長寿命化事業(公適・長寿命化)	教育債	36,600	53	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	校	3	2	2	4		
	改修・修繕を実施した学校数	目標値		3	2	2	4	4	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100	100		
	施設改修に係る工事完了率	当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・学校施設の改修								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	外壁の改修工事や高圧受変電設備の改修工事を実施し、施設機能の維持・改善により施設の長寿命化を図ることができた。また、福知山市学校施設長寿命化計画に基づき、従来の事後保全型から予防保全型への転換をめざしているが、多くの学校において施設の老朽化が進行しており、喫緊の安全確保を要する改修が優先される状況にあることから、突発的な不具合による緊急修繕が依然として発生している。限られた財源のなかで、緊急対応と計画的な長寿命化改修の両立が求められている。
現状の課題に対する改善策	予防保全型の長寿命化計画に基づいた計画的な改修と、突発的な不具合に対する緊急的な事後保全の適切な両立を図っていく。限られた財源のなかで、最大限の効果を得られるよう、各校の劣化状況や緊急性の把握に努め、優先順位を見極めながら効率的な改修計画を検討していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	中学校施設改修事業						事業コード	100301620524		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911		
事業担当	所属	600100 教育委員会教育総務課			所属長	濱田 亜希子				
会計情報	款	10教育費	項	03中学校費	目	01学校管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	201 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	建築基準法・消防法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	小学校施設改修事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 中学校施設の多くが、築30年以上を経過し老朽化が進行している。 また、「個別最適な学び」や「協働的な学び」など多様な学習活動に対応する教室空間の設備環境の整備、改修が必要となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 学校施設の経年劣化が著しく、生徒の安心・安全、衛生環境の確保に向けた対応が求められる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 計画的な改修を実施することで、教育環境の整備を図る。 生徒が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、老朽化により不具合が生じている施設の改修を行い、学習空間の機能性、快適性を高める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・営繕修繕 ・放送設備機器等調査業務 ・灯油庫危険物標識取替業務（日新中学校） ・消火器購入

対象者	市立中学校　生徒・教職員	対象者数	2,108	単位あたりコスト	8.3
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社塩見商会、オニテック				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	10,214	中学校9校における施設修繕			
委託料	120	放送設備機器等調査業務、灯油庫危険物標識取替業務			
備品購入費	1,659	消火器購入			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	22,100	12,800	10,258	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		22,100	12,800	10,258	
予算財源内訳	① 一般財源	10,000	4,300	6,258	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	6,000	0	3,600	
	⑤ その他特財	6,100	8,500	400	
決算情報	① 流充用額	1,981	△ 800		
	② 配当予算	24,081	12,000		
	③ 執行額	23,267	11,993		
	④ 執行率	96.6%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.79 / 0.00	0.68 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	6,320	5,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		29,587	17,433		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	中学校施設改修事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	6,338	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	校	9	9	9	9		
	改修・整備を実施した学校数	目標値		9	9	9	9	9	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100	100		
	施設改修に係る工事完了率	当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・建築基準法や消防法に基づいた設備の修繕 ・学校施設の改修、修繕								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	中学校の施設整備は、生徒の安全・安心な学校生活と教職員の教育活動を支える基盤であり、計画的な改修・修繕は不可欠である。今年度からは公共施設の保守管理や日常的な修繕対応を民間事業者に一括して委託する包括的な管理手法を導入し、日常的な修繕等への迅速な対応が図られた。 学校施設の老朽化が進むなか、こうした日常的な対応の範囲を超える修繕や改修については、財政的な制約もあり全てに応えることは困難な状況にある。緊急性や危険度、教育活動への影響などを精査し、優先順位を見極めて計画的に対応していくことが引き続きの課題である。
現状の課題に対する改善策	包括管理業務委託（民間委託）により行う日常的な修繕の範囲を超える改修については、緊急性・危険度・教育活動への影響度や費用対効果の観点から優先順位を見極め、計画的かつ重点的な対応を検討していく。特に、生徒の安全や学習環境に直結する事案については優先的な対応に向けて調整するとともに、学校現場との情報共有を図り、限られた予算のなかで的確な精査・整理に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	教育文化会館管理運営事業						事業コード	100501630261		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	208 頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市夜久野町教育文化会館条例、福知山市夜久野町教育文化会館条例施行規則、福知山市夜久野町文化コミュニティセンター条例、福知山市夜久野町文化コミュニティセンター条例施行規則									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・教育文化会館グラウンドは、年間を通じてグラウンドゴルフや野球、旧市内エリアの市民の方々からなど多くの利用がある。市民や社会ニーズを的確に捉えた事業であり必要である。快適に利用できるよう、建物周辺の草刈を実施している。 ・R5年度に市有地（府営住宅　中村団地）と府有地（教育文化会館(旧福知山高校　夜久野町分校)）の等価交換を行った。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 利用者の安全性・利便性を確保するため、引き続き維持管理を行う。グラウンド維持管理業務に関しては、利用団体の中で新たに委託先を募るか、シルバー人材センターに業務委託する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 夜久野町教育文化会館、教育文化会館グラウンド、夜久野町文化コミュニティーセンターを適切な方法で維持管理し、市民に広く利用してもらうことで地域価値向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇教育文化関連施設の管理運営 〇教育文化会館グラウンドの草刈業務 〇教育文化会館周辺除雪業務

対象者	教育文化会館利用者	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	侍ベースボールクラブ、有限会社　やくの農業振興団				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	261	電気代、水道代			
役務費	15	建物総合損害共済基金分担金			
委託料	469	夜久野教育文化会館グラウンド維持管理業務委託料、夜久野町教育文化会館周辺除雪業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		845	683	678	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			845	683	678	
予算財源内訳	① 一般財源		808	646	617	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		37	37	61	
決算情報	① 流充用額		△ 40	61		
	② 配当予算		805	744		
	③ 執行額		785	744		
	④ 執行率		97.5%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.11 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		880	640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,665	1,384		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	教育文化会館使用料	教育使用料	1	10	
	文化コミュニティセンター使用料	教育使用料	84	10	
	電柱占用料（夜久野町教育文化会館）	教育使用料	14	10	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2,473	2,384	4,146	4,640		
	施設利用者数	目標値		8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
		達成度	%	31%	30%	52%	58%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回数	3	3	9	8		
	施設周辺除雪・除草	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	施設の適切な維持管理及び貸館								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 〇地域住民がグラウンドゴルフや野球等を行い、憩いの場となるよう適切な維持管理を実施している。 〇委託の除雪業務について、令和7年度は5時間の出動があり、大幅な増額になった。降雪量が予想できないため、余裕をもった予算の確保が必要である。
現状の課題に対する改善策	〇公共施設マネジメントや夜久野支所と連動し、今後の調整を進めるが、生涯学習課としては当該施設は不要。 〇文化コミセンは定期的な使用者もあり、今後の維持管理について協議していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	和久市公園管理事業					事業コード	100501650361			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911			
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	209 頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・市が管理する公園であり、市民が憩いの場として利用し続けてもらえるよう、草刈業務や遊具点検を行い、市民が安心・安全に利用できるように維持管理を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・和久市自治会に草刈業務等を委託し、安価で行っている。コスト面だけでなく、現地の雑草等の生育状況を把握でき、適切な時期に草刈指示が実施可能である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 和久市公園の利用者の安全性・利便性を確保し、公共施設の最適化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇和久市公園の管理運営 草刈業務 樹木剪定、伐採業務 遊具定期点検

対象者	和久市公園の利用者	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	和久市町自治会（草刈等）、都市緑化協会（遊具点検）				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	107	和久市公園・和久市多目的公園整備、和久市公園遊具点検			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	107	107	107	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		107	107	107	
予算財源内訳	① 一般財源	106	106	106	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1	1	1	
決算情報	① 流充用額	142	0		
	② 配当予算	249	107		
	③ 執行額	248	107		
	④ 執行率	99.6%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	400	400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		648	507		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	電柱占用料（和久市公園）	種類	教育使用料	実績金額	1	決算附属資料	10	頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%						
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	4	4	4		
	維持管理(清掃・草刈他)	当初見込		4	4	4	4	4	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公園の適切な維持管理								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○地域住民が憩える場として、公園の適正な維持管理を行うことができた。
現状の課題に対する改善策	○地域の公園として地元で愛護してもらえるよう、地元自治会と連携して管理する必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域公民館等施設改修事業						事業コード	100502630127		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	211 頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域住民が生涯学習を実践する場であり広域避難所としても機能する地域公民館としては地域住民の安心安全を守るため、利用者に支障のないよう施設の維持管理を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 計画的な施設整備の改修等
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 経年劣化が進み、不具合が生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を改修、更新することで、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心、かつ快適な公共施設を提供していく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 地域公民館等の施設改修・修繕等 令和5年度：市民交流プラザふくちやま照明LED化工事（3・4階） 令和6年度：市民交流プラザふくちやま照明LED化工事（1・2階）、大江町総合会館空調設備更新工事ほか 令和7年度：大江支所・大江町総合会館外壁タイル改修工事

対象者	地域公民館等利用可能対象者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	ー					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	18,694	大江支所・大江町総合会館外壁タイル改修工事			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		58,500	17,500	2,000	0
	② 補正予算		△ 5,346	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			53,154	17,500	2,000	
予算財源内訳	① 一般財源		3,600	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		46,800	17,500	2,000	
	⑤ その他特財		2,754	0	0	
決算情報	① 流充用額		1,152	1,194		
	② 配当予算		54,306	18,694		
	③ 執行額		53,774	18,694		
	④ 執行率		99.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.39 / 0.00	0.24 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		3,120	1,920		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			56,894	20,614		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	地域公民館等施設改修事業（緊急防災・減災）	種類	教育債	実績金額	18,600	決算附属資料	53 頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	1	2	1		
	工事完了件数	目標値		0	1	2	1	1	
		達成度	%	―	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	1	2	1		
	工事、設計委託等の実績	当初見込		1	1	2	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域公民館等の施設改修の計画的な実行								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	老朽化により不具合の生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を原状復旧、改修、更新することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に公共施設マネジメントを推進することになる。
現状の課題に対する改善策	地域公民館にあっては、築30年、40年と経過していることから老朽化も著しい。今後も広域避難所でもある公民館が安心安全に利用いただくために、必要性、優先度に応じて予算措置を講じ、計画的に実施していく必要がある。 令和5年度・令和6年度の2か年で市民交流プラザふくちやまのLED化改修工事を行った。 令和6年度は老朽化している大江町総合会館の空調設備の配管更新工事を行った。 令和7年度は安全対策のため経年劣化している外壁タイルを改修する大江支所・大江町総合会館外壁タイル改修工事を行った。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業							事業コード	100502630186		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911		
事業担当	所属	600400 教育委員会中央公民館				所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	02公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	211・212	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公共施設等マネジメント基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	社会教育法　福知山市立公民館条例　福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	☐ 法定受託事務　☑ 国府補助事業　☑ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 老朽化により不具合の生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を原状復旧、改修、更新することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に公共施設マネジメントを推進することになる。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ より良い施設に整備するため、地元・利用者からの意見聴取や関係課との連携
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む地域公民館を、バリアフリーかつWi-Fi環境を備え、生涯学習に加えて、住民自治、福祉、文化・スポーツ、防災等、多機能で複合的な機能を有した新たな地域の拠点施設として計画的に大規模改修し整備する。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること R5年度：日新地域公民館・体育館の大規模改修工事、日新地域公民館Wi-Fi設置業務、日新地域公民館大規模改修に伴う備品購入、六人部地域公民館・体育館の大規模改修工事、川口地域公民館大規模改修工事に係る設計業務ほか　R6年度：六人部地域公民館・体育館の大規模改修工事、川口地域公民館・体育館の大規模改修工事、成和地域公民館大規模改修に係る設計業務、六人部地域公民館Wi-Fi設置業務、六人部地域公民館大規模改修に伴う備品購入ほか R7年度川口地域公民館・体育館の大規模改修工事、成和地域公民館・体育館大規模改修工事　川口地域公民館改修に伴う備品購入ほか

対象者	地域公民館等利用可能対象者	対象者数	74,009	単位あたりコスト	5.5
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）				
委託先・実施主体等	岡山県貨物運送㈱、㈱京都環境保全公社、㈱スリーエス、舞台照明CREW・SOLOOK、㈱レントオール福知山				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	571	川口地域公民館・体育館大規模改修に伴う消耗品費、修繕料（川口地域公民館ピアノ用椅子修繕等）等	負担金補助及び交付金	638	農村婦人の家上豊富会館光熱水費負担金、成和地域公民館上水道加入金
役務費	510	成和地域公民館・体育館大規模改修工事 建築物省エネ法適合判定申請料、成和地域公民館ごみ廃棄手数料等			
委託料	1,386	川口地域公民館ほか物品移送業務、川口地域公民館リニューアルオープン記念式典に係る物品等搬入設置並びに撤収業務等			
使用料及び賃借料	1	成和地域公民館 会議室使用料			
工事請負費	391,622	川口地域公民館・体育館大規模改修工事、成和地域公民館・体育館大規模改修工事			
備品購入費	2,544	川口地域公民館・体育館大規模改修に伴う備品購入費			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	572,295	496,146	344,660	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	53,500	△ 24,200	0	0
	前年度繰越	171,900	118,400	0	
	次年度繰越	△ 118,400	△ 142,600	0	0
	小計（①～③）	625,795	471,946	344,660	
予算財源内訳	① 一般財源	0	△ 800	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	1,300	0	888	
	④ 地方債	615,500	466,200	337,400	
	⑤ その他特財	8,995	6,546	6,372	
決算情報	① 流充用額	399	0		
	② 配当予算	626,194	471,946		
	③ 執行額	498,007	397,273		
	④ 執行率	79.5%	84.2%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.02 / 0.45	1.15 / 0.30	/	/
	② 概算人件費	9,420	10,040		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		507,427	407,313		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業（地域振興基金繰入金）	基金繰入金	5,522	36	
	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業（公共施設等総合管理基金繰入金）	基金繰入金	504	37	
	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業（緊急防災・減災）	教育債	317,600	53	
	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業（緊急防災・減災）（継続費逓次繰越分）	教育債	72,000	53	
	地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業（社会福祉施設整備）	教育債	1,000	53	
	京都府地域密着型サービス等整備助成事業補助金	民生費府補助金	532	22	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	1	1	1		
	長寿命化大規模改修完了	目標値		0	1	1	1	1	
		達成度	%	―	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	3	3	2		
	工事、設計委託等の実績	当初見込		2	3	3	2	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	大規模改修の計画的な実行								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	地域公民館にあっては、築30年、40年と経過していることから老朽化も著しい。地域公民館や体育館等施設については、広域避難所にも位置づけられているため、有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用していただく公共施設として、また機能統合をし、利便性の高い施設として、修繕及び改修は有効である。 日新地域公民館・体育館大規模改修工事（R4・5年度継続費）、六人部地域公民館大規模改修工事（R5・6年度継続費）、川口地域公民館・体育館大規模改修工事（R6・7年度継続費）、成和地域公民館・体育館大規模改修工事（R7・8年度継続費） 日新地域公民館・体育館大規模改修工事完了（R5.10月）、六人部地域公民館・体育館大規模改修工事完了（R6.10月）、川口地域公民館・体育館大規模改修工事完了（R7.11月）
現状の課題に対する改善策	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき、地域公民館を地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治等地域コミュニティ及び情報の拠点として、バリアフリー化やWi－Fi環境を備えた様々な活動が可能な施設に整備する。また、太陽光発電システム、蓄電池、V2B機器を備え、災害時にも信頼性の高い避難所とするとともに再生エネルギーを活用したSDGsを推進する高機能な施設とするため、大規模改修を計画的に進めていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	学校給食センター設備改修事業						事業コード	100603621530		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化			
	施 策 名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911		
事業担当	所属	600600 教育委員会学校給食センター				所属長	谷垣 薫			
会計情報	款	10教育費	項	06保健体育費	目	03学校給食費	会計	01 一般会計	決算附属資料	218 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	学校給食管理運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 学校給食は、子どもたちの健康を支える一日も止めることのできない重要な公共サービスである。センター開設から13年が経過し、突発的な故障リスクが高まっている。万が一、突然の故障で給食提供が不可能となった場合、市民生活への影響が極めて深刻となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 日々の給食調理の中で、しっかりと点検を行い、調理機器に関して些細なことでも気付きがあれば調理配送等委託業者から早急に報告してもらい、契約の範囲内での修繕などを速やかに行っていくよう求める。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 平成24年3月に供用開始した福知山市学校給食センターは、施設・設備や調理機器の劣化が見られ、市立小中学校の児童生徒に安心安全な学校給食を提供するため、適正な修繕や更新、工事を計画的に行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・長期保全計画に基づき実施する。 ・突発的に発生した不具合や故障には、給食の提供に支障が出ないように優先順位を付けて実施する。

対象者	市立小中学校の児童生徒及び教職員	対象者数	6,405	単位あたりコスト	1.6	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費	費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
	需用費	6,298	EF-1排風機修繕、蒸気配管等修繕、ガス吸収式冷温水機R-1-1燃焼用送風機修繕ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	8,880	4,684	30,000	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		8,880	4,684	30,000	
予算財源内訳	① 一般財源	3,480	4,684	9,800	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	5,400	0	20,200	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	1,888	1,614		
	② 配当予算	10,768	6,298		
	③ 執行額	10,119	6,298		
	④ 執行率	94.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.42 / 0.00	0.47 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,360	3,760		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		13,479	10,058		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	189	189	188	192		
	給食提供日数	目標値		190	190	190	192	192	
		達成度	%	99%	99%	99%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	3	7	4	15		
	10万円以上の修繕、更新、工事等着手件数	当初見込		3	4	4	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	調理配送等業者からの調理機器等に関する報告								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・本センターは開設から13年が経過しており、安全・安心な給食を今後も継続して安定提供していくためには、日常的なメンテナンスや部分的な修繕だけでは限界を迎えつつある。老朽化が進む調理機器の更新にとどまらず、ボイラーや空調設備といった給食提供の根幹を担うインフラを含め、施設全体の長寿命化に向けた対応が不可欠である。 ・これまで長期保全計画に基づき計画的な改修・修繕を実施し、施設機能の維持に努めてきたが、施設全体や各種調理機器の経年劣化が進行しており、計画外の突発的な不具合や故障の発生が目立ち始めているのが現状である。限られた予算と時間の中で、給食提供への影響度や緊急性を的確に見極め、優先順位を付けながら迅速かつ柔軟に対応していくことが喫緊の課題となっている。
現状の課題に対する改善策	・突発的な機器の故障を防ぐため、IoTなどのデジタル技術を活用し、機器の稼働状況や異常の兆候をデータで把握する「予防保全」を検討、推進する。不具合が生じてからの事後対応ではなく、故障前の適切なタイミングでメンテナンスを行うことで、給食提供の安定性を高める。 ・個別の調理機器の修繕にとどまらず、建物本体やボイラー・空調などの附帯設備を含めた施設全体の一括管理体制を構築する。保全計画に基づく中長期的な視点で、設備ごとの耐用年数や更新時期を総合的に管理することで、施設全体の確実な長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図る。 ・日常的な点検体制を強化するため、現場で作業にあたる調理配送等委託業者との連携を密にする。日々の業務の中で調理機器の異音や動作不良など些細な変化があれば早急に報告を受ける連絡体制を徹底し、契約範囲内での迅速な初期対応や修繕を速やかに実施することで、重大な故障や業務の停止を未然に防ぐ。 ・近年の記録的な猛暑は、給食センター内の労働環境の悪化や食中毒リスクなど、衛生管理面において深刻な影響を及ぼす恐れがある。そのため、十分な処理能力を持つ空調設備の更新や換気機能の強化など、過酷な夏場の環境下でも安全かつ衛生的に給食を提供し続けられるよう、暑さにしっかり対応できる設備を速やかに整える。